



特別
千12
3643
71(23)



紅藥狩
殺生石
鷹
舍利
土物

紅紫狩



一面

若女

- 一着附箔
- 一着唐織
- 一雙
- 一雙笏
- 一雙扇

後
一面

シカニ

- 一着附厚板
- 一浴被
- 一半切
- 一縷紋腰帶
- 一赤頭
- 一赤地金襴
- 一杖

連
一面

- 一着附箔
- 一上着唐織
- 一雙
- 一雙笏

○一臺臺ナシ山作物斗ニテ瓦瓦ナリ

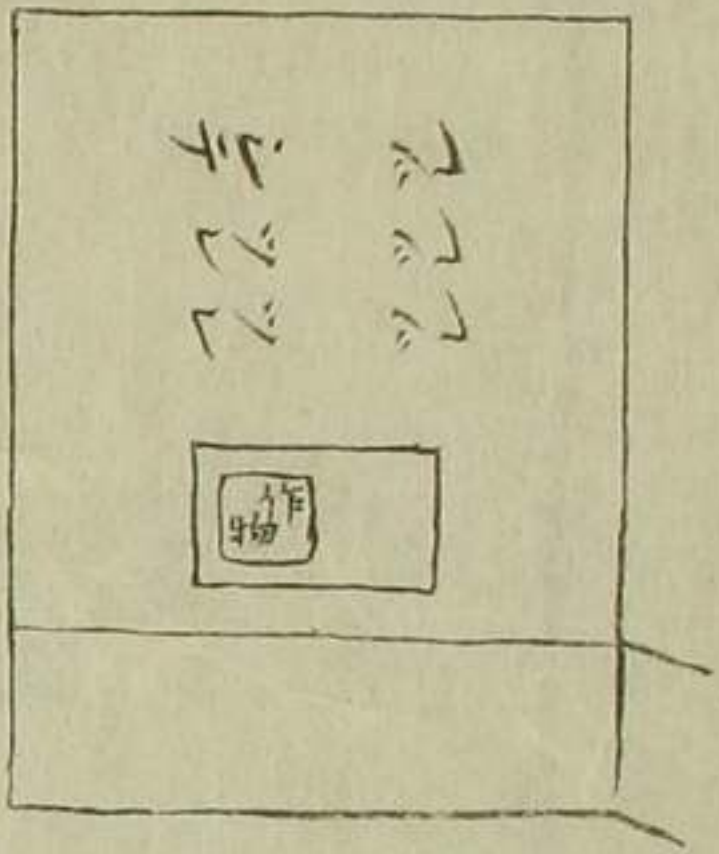
嚙子方地謡座付テ一臺臺ヲ後見二人ニテ持出テ山ノ
 作物ニ紅葉ノ造花ヲ押引廻シカケテ後見二人ニテ持出一臺臺ヲ
 大小前ニ置其上ニ作物ヲ置 後見引
 但シ一臺臺ノ上左ノ方ニテ作物置也

一次才二段幕^{右ノ腰}ツケシテシニト出舞臺内ニテ

向合次才ヲ謡

地トリニシテ正面向

連ハ向合名^終



一 美ヤナカエテト連^{向合} 一 餘リ淋シキ正面向謡

一 伴ヒ出ルト連^{向合} 一 先本ノ本ニト左トリ^{半座}

行在トリ正面向ケテ向 一 暫ク休ミト床机ニ腰カケル

一 連 一 先本ノ本ニト五人^在地謡^前行シテト一同ニ脇

正面向 暫ク休ミト^居

狂言女^{モカフ}調アリ

一 脇 一 口^聲ヲ出 心ツカヒソ類キ目付柱^トシテ柱^ノ中^程ニ立^飛

一 忍フモチスリ誰ソ^在ト^半向 モシタイ内^半向名^終

一 立ヨリテト立 一 河ノ流レヲト立一^至屋ノ方^トリテ行 一 恥カシナカ

カケワキヲ見恥カシナカト面^下ケテ行 一 一^被ニスカリト^{ワキ}ノラモトワキヲ見^面ヲ下ケテ行

左ノ神ヲ左ニテトリ^其右ノ^左モカケ^左引 一 トムレハト

カ引心ニテ^{ワキ}ヲ見 一 サスカ岩本ト^あノ^ヲ放シ

海ヘ^カシサカリナカラ^右ノ^左腰ニツケ^右トリシテ柱ノ方^行

坎時^{ワキ}ハ脇座^行也 一 取ハ山路ノト^{ワキ}向出

一 何かハ若シカレヘキト申テ下ニ居クリニ正面向

一 サシノトメヲユラケニスル故ワキヘ向カズ

一 一歩切ニ扇ヒロケ要ノ筋ツ右ニ持地紙先ヲ左ニシテ平ラニ持

ハシ上テ持也 一 亂ルハフシハト立ヨク向テ出ワキハ

ヘ下ニ居立 一 思シカトモトヨキ扇ヲヒロケ出シ次オ

酒ツグ仕形 此仕形扇身ニキキカ方大骨ヲトシテワキノ真中ニ寸程アヒ置テアテ上ニ五六寸真直ニ上ケ扱

白ヲ引 一 向ハ替ル心故トヨキ安座スル時ワキヲ

シカト也 一 一歩切ニ正面向ナカラ扇タミテ立 是ヨリ舞出ス

ニ付右ニ腰ヘアテズ奉ルヨキ程ニカニル 一 サレハ佛モト右トリ一登其堂ノ

前へ行正面向 一 珠ニ飲酒ト出カケ角トリ

一 亂心ト左廻リ 一 カル姿ハハ世ニモト一登其堂ノおニテ

〇類ヒ流ノ山楼ト正面向シ廻リ扇テモ
正面向 一 類ヒ流ノ山櫻ト左右方込扇ヒロケ面ニ
扇ナシニモ 〇類ヒ流ノ山楼ト右ニ舞踊セツフミテモ

カサシ 一 是トテモト扇上テ引 一 前世ノ契ト

左右ノヨヲお出シ左ヲ先タテ左へ行 一 色見ヘテト

踊ツフミ 一 カル折シモト右ヲ高クシテ右へ行

一 草塚ノお入ト正面向ヘサ込用 一 行末ヲサシテ

角へ行扇カサシ足トメ左廻リ一登其堂ノおニテ

一 立ワツラルト 袖ロトメシナカラワキヘ向 一 一歩切ニ正面向

一 長三嵐ノト右ヲケニシ也 一 敬カ正木ノト正面^先出

カケ 一月ノ盃ト開 一 雪ヲ廻ラスト右廻リ

ナカラ扇タミ大鼓ノ方へ行カリハカリ中ノ舞五段

●秋中ノ舞ハ序ノ舞ノ位ニ舞ナリ 苗役者モヨク申談置キ也

ニ段目オロシノ所ヨリ笛ノ位ガ静ニシテ ヨヒマラリヒマ

ニ段目ノオロシノ所ヨリ笛ノ位ガ静ニシテ ヨヒマラリヒマ

是左ヲ引テワキノ寢タルヲシカト也 ヲヒヤライホウクヒト

是ヨリ位ヲ立進ニカ直ニ左ニテサシシテ柱ノ邊へ行小廻リ

舞ノ形同シ但 先ヨリ 踏テ踏也 一 舞ノトメアトへ小廻リシテ正面扇面ニカサシ絶スト謡

一 青苔^下地ノ扇ニテ引 一 絶ス紅葉ト左右ニテ出カ

也開 一 雨ホソクト左ヲ引扇ニツアオギナカラ

正面出 右ニテトメ 一 夜嵐ノトサシ右廻リシテ柱ノ方ニテ

一月待ホトト扇ヲ左ノ肩へ上ケ右ノ上ヲ也

一行敷袖トワキへ向テ出 一 夢ハシサシト開トクトワ

ヲ見返シニ面ヲワキへ残シ右へ廻リサニ扇ヲタミニナカラ

作り物へ入 中入 ライ席 連オク幕へ入

一間 未社 太カヲ持出

後

一又ハ屋室ニト去アリ作り物、後ヨリ出

一七尺ノ屏風ト作り物、右方一臺、上ハアカリ

一餘リテ其丈一丈ノ鬼神ト、杖ヲ逆ニテ、方ヲニギリ胸ニ

アテ左ノ手ヲ右ノ手ト大ッカケ 一面ヲムクヘキト

ワキヲキツト也 舞働

働ノ仕形常ノツ踊フニ、杖ヲ持テ、左ノ手モ放シ一臺

臺ヨリ方ヘ飛下リ、角ヘ行角トリ^{左袖返シ}左ヘ行ワキノ方ヘフミ込

左ヲ引ワキノシカトキメテ也 股 丈ヨリ左トリシテ、杖ヘ行

左ヘフリ返リワキノ目カケ、杖ヲ上テワキノ方ヘ行、杖

歩込、踊ニツフミ、体ヘ飛上リト、右ノ膝ヲ^股、ワキノ杖ヲ

出シ、外シ左ノ膝ツキ、囃子方ハ、又ノ膝立カエテ向立テ

正面サレ、右廻リ一臺^{臺、杖ヨリ}、上ヘ飛上リ、杖ヲフリ上ワキノシ

カト也 働トメ也

一三子ヲニト 踊ニツフミ 一飛シテト 一臺臺ヨリ飛

下リ、杖ヲ上ワキノ也、テ出 一飛遠ヒト、ワキノカラ

カシテ、ワキノ座ノ方ヘ飛サ、ワキノ向 口キハシテ、杖ノ方ヘ飛シ

一在ノ下組ト、左ノ手ヲ出シ、カシテ出テ、ワキノ組タル仕形

組タル仕形ハ、ワキノ腰ヲアタリ、カシテ、ツカムナリ

○飛テト 立名、一足ニツ飛、跡月形

シテ 一鬼神ノ真中トワキト組タル俣右方フミ

ニテリ笛柱ノ方ヲ後ロニスル 口キ目付柱ヲ後ロニスル

一カウベツカシテト左ノ方ヲ右リ口キノ襟ヲツカミ引テ

カシ海ヘシサル 一切拂ヒ給ハト口キ柱ノ方ヘ死返リ

口キ向立テイル 一釵ニ恐レテト口キヲチヨト也

一盤ノホルヲト作り物ヲ此テ行左ノ方ヲ上ケ作り物ヘア

ガル仕形スル時口キ引オロシトシテヲダカエルカシ引レテ

中ニテ正面向安座シテ面伏居ル 亦口キ仕留ル

口キトメノ踊フニハ時立テ口キノ海ヨリ幕入

○又ハ虚空ニアタリ作り物ノ後ロヨリ出一臺臺右ノ方ヘ上リ

先(出) 余リテ其文ト女杖フリ上ケ面ヲムクヘキト面斗ニテ口キ

ヲジツカリト此テ居ル 此時働ナシ
○自然一臺直上ナシニハ時ハシテ柱ノ邊(出) 形ハ右ニ同シ
○働ナキ時一拍子ニテ口キ諷出ス

○引オシト口キ引オス時笛ノ方ヲ是ニシテ頭ヲ目付柱ノ方ヘ
アテ仰向ニシテ忽鬼神ヲ其俣起上リ作り物ヘ入
又仰向ニシテ笛ノ方方向安座シテモ亦作り物ヘ入

替ノ装束ノ更

- 前
- 面羞 着附箔 緋大口 袴杉唐織 腰笏 髪 髻笏
- 丸炬盤扇
- 後
- 面羞 上着 唐織ヲ脱キ女杖ヲ持 余ハお装束ヲ用ユ

後 替ノ装束 黒頭ナリヤ下立更

殺生石

一面

- 一着附箔
- 一上着唐織
- 一雙
- 一雙帶
- 一雙扇

後
一面

- 一着附波履
- 一法被
- 一半切
- 一綾紋腰帶
- 一赤塔綢鉢卷
- 一赤頭
- 一修羅扇

雜子方地謠座付テ一臺臺ヲ後也二人ニテ持出テヨリ石
 作り物ヲ又後也二人ニテ持出一臺臺ヲ大小前ニ置其上
 石作り物ヲ衆セ置 後也引

一ワノ道行淋狂言トセリフ有テワサ六立越石ノ板

舞ヲ見スルニテト 口座へ行時幕ヲ上 口ヲ見テ

ナフ^其ト 謡 一ソモ此石ノト 平身ニテ歩出

一サハルニ命ナシト 口ヲ向足トメ 一カク恐レキト 正面

一水メ給ヘト 口ヲ向 一ソコ退給ヘト 二足ツメ

一板跌石ハト 平身ニテ歩ミ 一執心ノ石ト成タルナリト

口ヲへ 一不思議ナリトヨト 歩ミ舞臺へ入シテ板ノ

先ニテ足トメ 一丈モ謂ノト 口ヲへ 一内身ノ

風情ト 正面 一イヤ委ハト 口ヲへ 一猶モ

頭スト 口ヲへ 一アタヲ今ト 二足ツメ 一那頂

○今魂ハアアサカルト 正面 向タル儀

踊ノ慮ニト 正面 一苔ニ朽ニシト 右ヲウケ

一執心ヲト 正面 出 一草ノ慮ト 用

一物スサシキト 角へ行角トリ 一枝ニ鳴ツレト 左へ廻リ

シテ柱ノ際ニテ 一物スコキ煉ノト 正面 用 不用 正面 へ身ヲ出シ

一クリニ左ト 右ト 大少おへ 行 正面向中へ 行ト 居

曲ノ前 上ノ前 曲トメ 口ヲへ向

一今ハ何ヲカツムヘキト 口ヲへ 一真ヤ餘リノト 正面

一荒恥カシヤト 口ヲへ 一ヒルハ浅間ノト 居立

一立帰リト 正面 出シテ 立返ニ 右トリシテ 柱ノ際へ クツロキ

一サシケノ姿ト日向 一夕闇ノ夜ト正面向開テ

上ラ此 一此夜ハアカシト右ウケ女シ出足トメ

一我影ナリト左テロキヲサシ出 一恐レ給ハテ開

一待給トト衣廻リ作り物ノ右方テ正面開返ニ在トリ

作り物入

一 間 語

後 一出場不越一段 左鼓キサシノ中ヨリ石ニ精アリト謡出ス

一フタツニワルハト石作り物左在ワル 後見直ニ
トナリ

後シテ床机ニ腰カケ居ル

一御腦トナルト面斗ニテワキ見 一既ニト正面

一玉藻ニ湯幣ヲモセツト左在ヨリ上座ヲ左在

持カテ持む中ノ所ヲ持 在ヨリハ直ニトケル 一ツルシメテトスエル間ニ

一ヤカテ五解ヲクルシメテト返シ間六ツフミ

一幣帛ヲ返トリト扇ヲ右トリ 一飛空ノト臺

ヨリ右ニ懸トリ左ヲ引上ラサシ正面出右廻リシテ柱ノ

際ニテ小廻リ正開 一其後勅使ト正面身ヲ直

一之浦之分上総之分ト踊在リ 一女人ニ輪旨ヲト

○其後返シヨリ間六ツトフミ返シ如是後ハ宜カラス文句ニ心付ヘキ也

角トリ 一那頂舞ノト左廻り中ニテ

一勅ヲ受テト正面へ開 一踊テハト右廻リシテ杖

際ニテ小廻リ口へ開 一是六進物ノト正面ニ引

一始トカマト踊ツ 一両分ハ将装束ニテト^{袖返シ}角トリ

返ヨリ左廻り中ニテ 一單ヲ分ツテトサレ分シテ^{左足先引}

右廻り笛座ノ方へ行目付柱ノ方へ開 一身ヲ何ト

左右ノ手ヲ上テ出^{右ツマミ}扇ヲ左へトリ^{右ツマミ}を扇中ヲ持^{右ツマミ}テ引タル

仕形シテ左キリト^{右ツマミ}流ヘトリテ廻リニツ^{廻リ上リニ右ツマミ}廻リテモ^{右ツマミ}流目付

柱ノ下ヲ子ラヒ 一返ツマツト上下ヲ子ラヒナカラ

出 一サクリニツケテト左ヲフミ込ト一シヨニ左右ノ手モ

下へ伏 一矢ノ下ト左右ノ手ヲ持上へアゲ左引

直ニ扇ノ要ノ所ヲ腹へ当左ソリカエリ 一射フセラ

レテト一ガイニ安座 又飛テ安座シテモ 一即時ニ奉

ヲト立衣廻リナカラ扇右へトリ直シ一尋^{右ツマミ}其堂へ飛上リ正面

一此野ニ残ツテト左右ノ袖頭ノ上へ返シ 正面へハツキリシ

一殺生石トナツテ人ヲトル^{多ク}ト^ト踊フミ返シテ

一今値難キト袖モトシ臺ヨリおへ飛下リ口へ出テ開

下ニ居立 一有へカラスト平伏シ 一侍僧ニト

紀テロキヲ見 一約束カキト立サシテ正面方

出右キリト向麻上ヨリシテ榎除へ歩込糸込踊ニツ

右(飛カテリ)正面向下居立袖頭へカツキ並ニ袖ヲロシテ

立右ウケニ足出 踊ニツフミトメ入

ウセニケリ

夜

一面

阿波男
ニケ月
瘦男ニテ
スルモ

- 一着附色ナシ厚板 一水衣 一腰^故帯
- 一黒頭 一星地鉾巻 一白骨^{右腰サス}星地巻
- 一棹 右持

一面

小飛出

- 一着附紅厚板 一浴被 一半切
- 一緋收腰帯 一赤頭 一赤地金巻
- 一歩杖 右腰サス 一脩羅扇

一七心何ニト足多クケ 一コカレテ絶又ト右ウケ

柱ノ先ニテトメ 悲シキカナヤト 謠

一七心何ニト足多クケ 一コカレテ絶又ト右ウケ

一 息久人シテト 左右のヲ下ケエシカト也

一 得多ヤト 目ヲ放サズ上ヲ是名徑左ヲ引ナカラ扇ヲ右ニ

送ニ要所ヲニキリ 一 落ル處ヲト上ニ是名ハツ立

一 ツト奇テト 目付柱ノ方^{ツカト}出ナカラ左右ノ^{右ラフニ込}上引ヲ又極ニ

シテ下^{右ラ引テ}居立左ノ^{右ラ引テ}下へ桿付 一 コノノ刀ソ

送ニ持名扇ヲ刀ノ心ニテニツ斗サシ通ス仕形シテ

一 扱火ヲトモシト 立扇ヲ右ニテ持出シナカラ正面向海へかシ

足ノツケ^{右ラ引}扇ヲ松明ノ心ニテ上 一 頭ハ猿ト右ノ方

下ヲ見 一 尾ハクチ六ト 扇ヲ左へヨセ右ノ方^{右ラ引}見

一 足ハ虎ト 扇ヲ左^{右ラ引}上ケあ^{右ラ引}下中ヲ見

一 ナリ聲ト 扇下ケ右廻リシテ柱ノ際ニテ 一 怒ロシ

ナシトモト^{左ニテチヨトメ左ヲ出シト居}向テ中へ行下ニ居 歩切ニ正面

ロシキニナリテ後此桿ヲ持出シテ左ノ脇ニ置

一 沉ハ浮ムト^{右ラ引} 一 冥マ他生ノト 正面

一 ナキ世ノ人ニト 居立扇前へサシ 一 桿トリ直シト

桿ヲ見テ左ニ持テ立 一 夜ノ波ニト 右トリニ立

幕入
○ 糸ト見ヘシト立

一 間語

後

一出端不越一段聞テ幕上右ウケ身ヲ垂シ歩ニ出シテ

柱ノ際ヨリシテ柱ノ柱ノ間ヨリワキヲ見込ワキシテ柱ノ柱ノ間ヨリワキヲ見込向テ舞臺入シテ柱ノ先ニテ開ナカラ合掌

ワキ
ワキヲ見込テ舞臺入時一佛成道トワキ謡出ス

一頼ヘシヤト多ヲロシ正面へ開 一五十二類モ亦同

性ノト踊フニ角へ行 一涅槃ニヒカレテト袖返シ角トリ

一真如月ノト左へ廻リワキヲヨリシテ柱ノ際へ行小廻リ

ワキへ開ナカラ右難ヤト合掌 ワキヲ遙ニ多下ケ 正面向

一扱モ我トワキへ向 一王城辺ノト右トリ橋カリ

行フ松ニテ正面向東ニ條ト遙 一ウシニツ斗ノト

舞臺へ歩ニ入シテ柱ノ先ニテ右ウケ扇ニヨリ

一御殿ノ上ニト正面向中へ歩込 踊ニツフミ

一飛サカレハト開 一則御。腦。顛。リ。ニ。テ。ト。踊。ッ

一玉躰ヲ腦シテト袖返シ角トリ 一ガヒエト左廻リ笛座ノ方

ヨリ目付柱ノ方ニヨト出左右ノ多ヲおへヨセ 一我十ス

ワサヨトト扇上テ開 一イカリヲナシニト 踊ッ

一思モト左身ヲ引右ノ多ヲおへ出シ目付柱ノ方へ行

一頼政カト目付柱ノ方ニテ足トメ 一矢先ニアタレハト

左右ノ身ヲ上ノ扇ヲ持テ左ノ身ヲ引テ要ノ所ヲ腹ヘ當

一 変身ウセテ左ノソリカエリシテ正面向 一 ラクノト

逆ジタリノトサカリ 一 ラクノトトシテ柱ノ際ニテトニ

右ノ膝ツキ左ノ身ヲモテケ 一 地ニ倒レテト左ノ方ヘ左ノ

膝ツキ卧シ又脇ニ面ヲ方テ膝ニカエ直ニ正面向安座シテ向

忽ニト 面伏テ居 一 思ハ頼政カト面ヲ上ケ

一天罰 ト右ノ上ノ扇ヲ右ノ膝ノアタリヲツキ

一 其時ト居立扇をサシ腰ナルサ杖ヲヌキテ持立左ノトリ

大小ノ前ヘ行正面向テ出 一 大石給リテト開

一 キサハシヲオリ給フニオリフシト 踊步退開右ヲケ時鳥ノ笛

一 仰ラレケハト正面向テ出 一 膝ヲツイテト正面向

右ノ手ニ右ヲ引下ニ居立 一 左リノ袖ヲヒロケト座ノ左

ノケ 一 月ヲスシ目ニカケテト右ノ上ヲ此

一 但セテト立左ノ身ヲ上ヨリ出シニ足出左ノ身ヲ上ヘ

サ杖ヲ紫セ直ニ持テ開テトニ居立

一 御劔ヲ給リト戴キ其ノ身ヲ立シ共左ノ身ニサ杖ノ中ヲ持

立テ海ヘカシサリ直ニ下ニ居立 一 御前ヲト右ノ身ヲ

ツキ平伏シテ 一 罷歸レハトシテ杖ノ方膝立カヘテ向

一 頼政ハト 立チ杖ヲ右ニ持テ廻リ笛座ノ方ヨリ

一 我ハト 目付柱ノ方ニ是行カリ 一 名ヲ流スウツホ舟

胸サシテ行 一 押入ラレテ目付柱ノ方ニテ左ヲミ

込チ杖ヲ肩ヘアケ左ノ方ヲ杖ニカケ首ヲオサヘ

一 淀川ノト 左ヲ引ソリカエリシテ左ノ身ヲ引左ノ方ニ流レ

テサカリキヨト足トメ右方ニ足ヲフミ出シ右キリトソリカエリ

シテ右ノ身ヲ引橋カリノ方ニ流レテサカリ橋カリニテ左右ノ

身ヲ下ケ右膝ツキ 一流レトツテト 安座シテ步

杖ヲ其俣捨扇ヲヌキヒロケテ持立テ舞臺ニ入

一 遍ニ照セト 西ノ方ニ雲ノ扇シテ開 一 カエシノ 遍ニ

照セト 左ヲ引 五ノテ招キナカラ出足トメ右ヲ下ケ扇ノヨリシテ

柱ノ際ニ歩出 糸也 廻ニツフニ 一 海月モ入ニケリト

右ニ飛返リ正面向下ニ飛左ノ袖頭ニカツキ 直ニ袖ハラヒテ

立袖返シ 右ニ是出 廻ニツフニテトメ袖モトシ扇タメニ

入 〇 遍ニ照セト左袖カツキ西ノ方ヲ見テモ 此時ハトメヲ扇左ニ

イリニケリ

● 流レ様乱ノ是ト同シクナラヌ様ニヌヘキ也

仕舞ニツテ時流レトツテシテ杖ノ際ニテ下ニ扇ナカラト左ノ角トリ
左ノ廻リ中ニテ西ノ方ニ云ノ扇ニ 能ニ知是シテモ可然ナリ

舍利

一面

- 一着附堂厚板
- 一水衣
- 一綾紋腰帶
- 一黑頭
- 一黑泥鉢卷
- 一白骨墨繪扇

後
一面

- 一着附紅厚板
- 一浴被
- 一半切
- 一綾紋腰帶
- 一赤頭
- 一赤地鉢卷
- 一舍利 前二舞臺出立名舍利
火炎ト臺トテ持出也

舞臺天
一面

- 天神
- 一着附紅厚板
- 一側次
- 一白大口
- 一紋付腰帶
- 一萌葱地鉢卷
- 一黑扇
- 一走天冠
- 一歩杖

囃子方地謡座付テ一臺臺上左方ヨセテ舍利ヲ兼セ後見
二人テ持出舞臺正面三尺程間オキテ一臺臺ヲスエ置後也引
緞子ニテ斤本臺ヲ包其上舍利ヲセル也

一有難ヤ今モ在世心地シテ幕上出ル橋カシ長短ヲ見斗ヒ

舞臺入シテ柱ノ先ニテ開トメ 不閉トメテモ 有難ヤト謡

一嬉シカリケル 不閉トメテモ 正面開 一是ハ以アタリトワキ

一爰ニ立ヨルトニ足出 一ヨシ誰トテモト 正面

一來ルモ余取人トワキ 一月雪ノト 正面

一庭ノ松風ト右ウケ 一更行ト 正面向テ出

○色ニテモト足トメ心耳ヲ澄スト右ニ足出カラ聞右耳ニモ左ニテモ

一心耳ヲ澄スト開澄ヲ受 一美聞ヤト左廻リシテ

柱ノ際ニテ 一嵐ヤ浴ヲト 不閉正面トメテモ 正面開

一返ニ左トリ大小前へ行正面向時舍利ヲキツト此丈ヨリ

中へ出下ニ居

曲ノ前 上ノ前 曲ノトメ ワキへ向

一今ハ何ヲカトワキへ 一猶此舍利ニト居立舍利 右ツリ

ヲ見 一ユルシ給ヘヤト 正面向トメ 下ニ居ル 一舍利殿ニ

望ミト居立舍利ヲ見 一キンクニヲ此セト立

一寶座ヲナシテト開 ニ足出テ 一センダンチンスイカウ。

センダンチンスイカウノト開フニ返シ是ニ右トリ橋カリへ行

○梅檀泥水香ト開六ツフニ踏カシナシニ是橋カリへ行テモ但幕キク迄行ナ

一ノ松ノ先ニテ左トリ正面向出左ニテ額ヲトリ 左ツリニ出シ

一上ニ立昇ル雲煙ト正面ノ上ヲ面き此廻シ其ニ下ケテ

タラクトガシヤリ 一光リニトサシ左ヲ引一重身ニテ舞臺へ

走り入シテ柵ノ先ニテ正面へ用 一足ハヤキ鬼オレハト

廻右へリ 一舍利殿ニト左ヲ引一舞臺ヲ此テ行

一舞臺ノ右方へ飛上リ右足ヲカケ左へキリクトニツニツニツ

廻リ 一見ル人ト正面ヲサシ右ヲ引右方此廻シ面き

一其紛レニト左方舍利ヲ此テトニ居立左右ヨシテ舍利ヲ

取り直ニ立 一蹴破リト純子ニ包名舞臺ヲ左ノ足ニ

フニ碎キ 一虚空ニ飛テト右ヲ引サニ一舞臺ヨリ

橋カリへ向テ飛下リ舍利ヲ高ク持テ走り幕へ入
右足ヨリ
在身引

一間 語

後

一イ且一吸聞テ幕上靜ニ歩ニ出 舍利ヲ左ノヨシ持
脇ニカエテ出ル也

舞臺入中へ出正面向カシ出テテト足トメ夫ヨリ右方目ヲ配
方ヲ見時幕上静敷天出ル也シテ左ヲ引舞臺へ入り口座ヲ所行内ハ
如是ニ立

此廻シナカラ廻リカケ幕ノ方ヲキツト此テツカクトシテ柵ノ

際へ行カリ左ヲ引テ幕ノ所ヲ見ル 早笛ニナリテ左ヲ引左ヲ引口キ

座ノ方向テ行一舞臺ノ角ノ所ニテ飛上リ一舞臺ト口キトノ

間ニ橋カリヲ後ニシテトニ居立右神ヲ頭ニカツキツムキ居

章駄天

一 早笛一吸吹テ幕上右ウケ見サシテヒトへ身テ走り

出シテ根先ニテ正面へ開柳是ハト詠

一 章駄天ハ我々ナリト開 一 何處マテカハト

シテ向 一 其牙舍利オイテ行ト開

一 イヤ叶フミシト袖モトシテ互右トリニ足歩ミ章駄天へ向

(一) 是臺ヲハツタキ

一 龍モ望ノ有物ヲト二人トモニ開 一 欲界。色界

色界。ト二人共ニ踊フミ 働

働ノ仕形 踊フミテ右ヲ引互ニ子ヲヒテ出連足ヲハラフ

時中ニテ一足ニ飛上リト居 股 是ニ立橋カリへ行幕ノ

際ニテ右トリ連へ向右ヲ引連シテテ返テア松へ來ル互ニ

子ヲヒテ出橋カリノ中程ニテ連歩杖ニテ歩時左方身ヲ

ハツシ右袖ヲ頭ニカツキト居 股 是ニ袖ハラヒテ互右廻リ

左膝ツ

連モ亦へ付返テ廻ナリ如是衣一遍廻リ是ニ舞臺へ入

口半座方ニテ右トリ連へ向テ開 働ノトメ也

章駄天

一 働ノ仕形 踊フミテ歩杖ヲフリ上右ヲ引互ニ子ヲヒテ

出中ニテシテ足ヲハラヒ其後シテノ後ツ所ヲ歩杖

ニテツ歩口半座ヲ後ロニシテシテテ方向開シテテ

詠ヨリ橋カリへ行ト松ノ所ニテ右ヲ引歩杖フリ上

互ニ子ヲヒテ出中程ニテシテヲサシテハ右方ニツス
 夫ヨリシテ海付右邊テ廻リシテヲ舞臺方へ
 ヤリ返シ海ヨリ杖ニテサシ舞臺邊テ入シテ杖先
 ニテシテへ開

一欲界色界。每色ト二人共ニ踊フニ

一界ト左ヲ引一臺臺ニ一足ニ飛上リ脇正面方一足ニ飛下リ

左トリ大小前ニテ 一二十ニ天ト正面へ開正面へ出

一帝釈天ニテト一臺臺ノ上左方一足ニ飛上リ立テ居

一出合給ヒト右方舞駄天ヲ左ヲ引テキツト也

一かノ下界ニトワキ座ノ方一足ニ飛下リ下ニ居右ノ袖額ニ

カヅキ走ヨリイロエ
 〇イロエナシニモ應ニ左行モト満

イロノ仕形 袖モトシテ立左トリ静ニ歩ミ笛座ノ前ニテ

左トリ正面向出ワキ座ノ方ニテ左ノ足ヲカケシテ杖ノ方へ向

舞駄天ヲ此付ニ足出テ開
 舞駄天ヲ此付ル所ニテ太鼓早メ
 半歩返一拍子ニテ本下界ト満也

一^地本ノ下界ニ返下ストイ豆有時以又ウアル也

一返クダスト^{一カニニ}安座スル 一左行モト満ナカラ立

大小おへ行正面へ開 一天地モト正面上下ヲ

見テ正面へ出一臺臺ニ一足ニ飛上リ 一クルくくくト

臺ノ上ニテ左キリクトイクラトモナク廻リル

一 臺駄大立ヨリトシテヲダカエル時一臺臺ヨリ正面ヨリ也

安座面ヲ伏テ居 一 ナクく舍利ヲサシ上ハト

右ノ玉ヲ持テムアケル 一 舍利ヲ取給ヘハト

臺駄大立ヨリタラハ且面向安座ノ後一臺臺飛

上り安座シテ也之正面向花傍一臺臺ヨリ後ニ飛ヲリ

流ハサカリ 一 イツシカ今ハト目付極ノ方へ行

カリ左ノ身ヲ引ソリカカリシテ流ハサカリ左キリト廻リテ

橋カリノ方左ノ膝ツキ外ニ膝立カ左ノ袖カ也也立テ

橋カリノ行袖モトシ幕際ニテリ迄廻ニツフニ右ニ飛返リ

平面向下ニ居左ノ袖頭ニカツキ 一 起上リテコソト

袖ハ子テ立袖カ也石ニ足テトメ袖モトシ入

臺駄天

一 欲界色界トシテ一回ニ廻フニ 一 界ト左ヲ

引シテテ返カケワキ座ノ方ニ行シテ外同様ニ一臺臺

ヲ飛越テシテ極ノ前行 一 帝釋天ニテト臺

方向テ開也行一臺臺ノ上右方ニ足ニ飛上リシテ

並ニ 一 出合給ヒテト左方シテヲキツト地歩

杖ヲフリ上右ヲフミ込シテ右ヲ引杖ヲフリ上

一 進下スト左テ廻ツフム イロニ杖下ケ右ヘトリ

○イロナキ時モ目付柱ノ方ヘ臺ヨリテテ杖ノ際行左トリ

一 臺臺ノ右ノ横ヨリ目付柱ノ方ノ静ニテ杖ノ際ヘ

静ニ行左トリワキ座ノ方向シテ杖ノ此付ニ是出テ開

一本ノ下界ニ進下スト杖ヲフリ上廻ツフム

一 左ヘ行モト杖下ケ其儘立居 一 くれくれト

シテノ廻ル此テ左ヲ引テ出一臺臺ヘ飛上リシテノ

後ヨリダカエ正面ノ下ヘ左ノ手ヲ押ヘ右ノ身ヲ引

一 歩フセテト杖ヲテツサ 一 願フテエテト廻

一 出セヤクト杖ヲテニッ程サ左ノ手ヲ押ス杖

ス下ケ 一 サシ出セハトシテノ上ケ各舍利ヲ

左右ノ手ニテ引取リ杖ノ右ノ手ニ 並ニキリテ各 並ニ右ヲ引サマ

一 臺臺ヨリ橋カリヘ向右ノ足ヨリ飛下リサマ右ヲ引

舍利ヲ高ク持テ幕ヘ走り入

土
蛭

一直面

一着附履首 一水衣 一緞子腰帶

一角帽子 一數珠右持 一巢左持

○數珠ナニ左右トミ巢ヲキリテ

後
一面

一着附紅段履 一浴被 一半切

一縵紋腰帶 一赤頭 一赤地金鉢卷

一歩杖 一巢如前左

○歩杖ナニ左右トミ巢ヲキリテ

一頼光

一着附厚板 一大口 一縵紋腰帶

一風折烏帽子茶掛緒 一神扇

一縫落ト鬘桶 切戸ヨリマウス

一 太刀持

- 一 着附鬘首
- 一 素袍
- 一 袂折扇あて
- 一 太刀右ニ高シ持

一 小蝶

- 一 着附箔
- 一 上着唐織
- 一 鬘
- 一 鬘帯

囃子方地謡座付テ一臺臺ヲ後見ニ入テ持出早座方ヨリ地謡
前ニ耶耶ノ如ク置 後見引

頼光 太刀持

一 後見引テ何支ナク幕上頼光右カ持出頼光ハ舞

臺入也ニ臺臺ニ上リ正面右ヲウケテ下ニ居安座座

後見カツテ桶ヲ頼光ノ左膝ノ所へ出シ繞箔ヲカツテ

桶ノ上ヨリ頼光ノ肩へ向ケテ掛ケ 太刀持ハ一ノ松ノ

一所ニ舞臺ノ方向下ニ居頼光へ繞箔ヲ掛テヨリ

立舞臺入頼光ノあへ下ニ居立太刀ノ柄コシリヲ

左右ヨリ取也 頼光ノ左ノ方膝トカツテ桶トノ間へ

入置扇ヲ又キ持ナカラ左トリ立テ一臺臺ノ次

笛座ノ上ニ行右トリ正面角カケ向ト下ニ居

小蝶

一 次才ニ股間テ幕上出舞臺入シテ杖先テ足

トメ大鼓ノ方へ向左右左ト出次才謡地トリニ正面向

小蝶 太刀持

一 美ヤ心ヲ得セスヨリ小蝶立左トリ笛ノ上ヨリ

切戸へ入 太刀持モ小蝶ノ所ヨリ同シク入

一 一セイ半越聞テ幕上右ウケ身ヲ垂シテ出橋カリ一ノ松

ニテ正面向トメ月流キト謡

一 イカニ頼光ト面斗ニテ頼光ヲ見 一 不思議ヤナト

正面へ垂 一 愚ノ仰ハヤト謡ナカラ舞臺へ入シテ

柱ノ先ニテ足トメ 一 カクルヤ千筋ノト左ノ母稟ヲ

頼光へ十ヶ掛ル 一 身ヲ苦シムルト頼光へニ足ツメ

一 化生トト 正面へ垂 一 抜ヒラキキマウ切ハト頼光ノ

切カクルヲテ是テ左ノ方へ身ヲハツシト左ノ膝ヲツキ垂ニ立

一 五ノ臺へ行一足ニ飛上リ右トリ右ヲ引頼光へ向

一 ツケサニト 踊ッテ 一 足モメズト 頼光足ヲ

ハラフヲ飛上リ臺ヨリ一足ニ下リト居垂ニテ幕へ走り入

頼光 一 イカニ頼光トシテ 一 化生ト是ヨリモト

シテ是レ左ノ方ニテ絶頂ヲハ子ノケナカラ居ニ扇ヲ

捨 後此絶頂トカラ桶ヲトル扇モトル

一枕ニアリシ膝丸ヲト太カヲ此テ左ニ持テ之ヲ右ツミ

込太カヲスキ鞘ハ後ヲ方捨臺ヨリ一足ニ飛下リ右引

シテ向太カヲ上テ行ヨリシテヲ切付ルシテハ右方ハツス

切付共シテ柱ノ際ニ行左ニフリ返リ右ノ身ヲ引シテヲ

此 一足モタメス ト太カヲ上臺ノ際ニ行シテヲ

足ヲハラヒシテノ後ニ右ニフリ返リシテヲ切切時

右ヲ引右膝ヲツギ 一得タリヤオフト並ニ立

シテヲ追掛テ行シテ柱ノ際ニ左ヲ引幕ノ方ヲ此

形ハ消テノ返シヨリ左ニトリ一臺^{んか}ニ行正面角カケ

テ向一臺^{んか}ニ腰カケ居ル

一早鼓ニテワキ出シテ柱ノ際ニ平伏スル

一イシクモ早ク來ル物哉 トワキニ面ナシテ 語テ使セ

以ヘシト云テ正面ニ並シ太カヲサヤニサシ左ノ身ニ持タレ倦

語 一ナンボウ奇持ナルトワキニ

一言語同リト正面 一急テ急リ以ヘトワキニ

一又早鼓ニテワキ幕入 頼光モワキノ身ヨリ入

頼光幕入テ後此出一臺^{んか}ヲトリ幕入

一間

間海テ幕入ト山ノ作り物ニ引廻シカケ其内ニシテ入名ヲ
後此二人ニテ持出大小前ニ置

一 口キ一セイニテ出ル

一 鬼神ノ形ハト引廻シトル

一 シテ作り物ノ内ニ下ニ居左方ノ物ヲツキウツムキ居ル汝シラス

ヤト其終ニテ誦 一 猶君カ代ニト起ル

一 頼光ニ邊付ト面ヲ口キ 一 却テ命ヲタシトヤトお

如クもウキウツムク 一 蜘蛛ノ精霊ト起上リ

居立右ヲ引キ杖脇ニ逆ニツキ 一 投カケノト左ノ

色ノ葉ヲ口キニ投カケテ並ニ立作り物ノおヨリ出右ニ廻リ

シテ柱ノ際ニテ誦ハイニ口キニ開 働

働ノ仕形如常開フニ杖フリ上口キ方ニ出カケ中ニテ

口キト口キ連トノ間ニカラテシテ 股 口キハ並ニ橋カリ行
口キ連ハ又ナカラ目付杖支行

目付柱ノ口キ連ノ方ニ右ヲ引テ向杖上テ出カケ口キ連トカラテ

シテ 口キ連ニナカラシテ右ノ方ヲ 並ニ右トリ橋カリ一行一松一町ニテ
通り口キ連行也

ナヨト近トメ右ヲ引キ杖上子ヲヒテ出中程ニテカラテシテ 股

右ノ少廻ルヤウニ歩ニテ舞臺方ニ向テ入り中ノ作り物おニテ

